

国際ロータリー第2570地区

# 行田ロータリークラブ

RI会長：カール・ヴィルヘルム・ステンハマー / ガバナー：野中 弘之

会長：内山俊夫 / 幹事：山本憲作

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：境野登章 / 副委員長：廣川和夫

委 員：島田修、鈴木貴大、田中敏男

石渡健司、小菅克祥、廣世雅昭



SERVICE Above Self

第1947回 例 会 (11月17日)

## 会長挨拶 内山俊夫 会長



皆さま、こんにちは。

一昨日11月15日には、天皇家の長女紀宮さまは東京都職員の黒田さんとめでたく結婚されました。皇室を離れ民間人となられたわけであります。紀宮さまの穏やかな笑みをうかべた清らかな姿が、印象的でありました。幸せなご家庭を築かれることを心からお祈り申し上げます。

さてこの度は小川雅以(マサユキ)会員が、めでたく黄綬褒章を授与されましたことを、心よりお祝い申し上げます。

日本国憲法は天皇の国事行為の一つとして、栄典の授与を規定しています。秋は11月3日に叙勲及び褒章——紅綬(コウジュ)褒章、緑綬(リョクジュ)褒章、黄綬(オウジュ)褒章、紫綬(シジュ)褒章、及び藍綬(ランジュ)褒章の5種類——が授与されています。

黄綬褒章は「業務に精励(セイレイ)し衆民の模範である方」が授与の対象となります。

小川会員に於かれましては今後とも健康管理のうえで、益々職業奉仕活動を向上しご活躍いただき、ロータリアンの手本となっただけをお願い申し上げます。

先週は、姉妹クラブの白河ロータリークラブ会長阿部次郎様の卓話を頂きました。例会終了後、白河第一小学校と行田中央小学校との来年6月10日、11日で行われる児童交流会の打合せをいたし、行田にお迎えすることを確認しました。

その後、中央小学校を訪ね文集作成の記念品を渡

していただきました。尚、白河の会長一行は例会場にこられる前に、亡くなられた高橋辰男会員のご自宅にて慰霊をされてから例会に参加されたとお聞きして心から御礼と頭の下がる思いでございました。

また、ハガキを阿部会長から頂きました。「木枯らしが歯車まわし奉仕の和」との短歌が書かれています。ロータリー歯車と奉仕への心を和とした思いでございましょう。白河は一足先に季節が進んでいます様子です。

本日は行田市教育委員会教育長であります、津田馨様にお越しいただきお話を頂きます。

私の本年度の方針は、未来に向けた青少年の育成に行田ロータリーとして積極的にかかわり参加すること、そして、各ロータリアンが意識して未来の子供たちを見守っていかうと考えました。

そして、行田ロータリークラブとして奉仕活動を致しております、12月8日に開催される「こうすれば本好きな子どもに育つ」をテーマ氏に致しました小川義男先生の講演会も大きな目標に向けての活動であります。

ロータリー活動では常に教育委員会からの後援も頂き、改めまして心より厚く御礼申し上げる次第です。本日は津田教育長様よろしくお願い申し上げます。

以上会長報告と致します。

## 卓 話

教育委員会教育長 津田馨 様

皆様今日は、御紹介頂きました教育長の津田でございますが、ロータリーの皆様方には、常日頃から行田市の教育に充実、発展のためにいろいろな面からお力添えを頂いております。この場をおかり致しまして厚くお礼を申し上げたいと思います。

今日のテーマと申しますか、行田市の教育についてという事でございましたが、最近よくいわれております教育改革という言葉ですね。国の方から教育改革の波が押し寄せ、あびせかけられ、その本質は、どんな所にあるのかなとよく見極めながら、軸がぶれないようにしっかりとした教育を推進して行わなければならないと思っております。

(次頁へつづく)

ごく浅いお話になると思いますが、始めに結論から申し上げたいと思います。

ほっとする家で、楽しい学校、磨き鍛える地域、そういったものを作りたいと思います。ほっとする家庭が今あるだろうか、家という建物があるが家庭が無い。家庭があるけど家族が無い。みんな個々、バラバラである。そういうほっとする家庭、そして楽しい学校、まんざり的な楽しさではなくて、本当に学ぶ楽しさ、考える喜び、ああこんな事がわかった、できた、そういう意味での楽しさです。楽しい学校にはたしてなっているだろうか。

そして地域の教育力と申しますか、磨き鍛える地域になっているだろうか。家庭と学校と地域社会が協力支援体制というものがきちっと確立していないと、子供はすこやかに育っていかないのかと、その様に思っております。

今年の夏にですね、ある花火大会でですね、こんな事が言われている所があるようです。

普通、花火大会とかイベントがあると沢山の人が集まってきて、終わった後はゴミがでますよね。普通はゴミはお持ち帰り下さいといいますが、ゴミはそのまま置いていって下さい、とアナウンスで言っていたのだそうです。おかしい事を言うなと思ったそうです。

普通ならばゴミはお持ち帰り下さいなのですが、その会場から持って帰るようなそぶりでも、その後、街角や家庭の前に置いて行ったり、そういう、家へ持ち帰らずに途中で置いて行ってしまうという事があったのでゴミはそのまま置いていって下さいという事になったのだそうです。でございます。

はたしてこういう事が本当に良いのかなと。家庭の教育力、地域の教育力とよく言いますが、そういう放送を流してはたしてそれで良いのかなと。もっと違った意味での方法があるのかなと、そんな事を感じました。

そういう事で是非、始めにという事で家庭と学校と地域社会が、子供を育てる大きな3つの分野のかなと思っております。



1番目の2つの教育特区という事でございますけれども、行田市は昨年度、浮き城のまちづくり教育特区、30人以下学級というのを国の認定を受けて取り入れました。

小学校1～2年生31人になりますと、15人と16人の2学級になります。国は、40人で1クラスです。そういった事で小学校1～2年、中学校で

1年に30人学級というのを設置致しました。

昨年度は、20人の市費の教員を採用致しました。今年度は、17名でございます。

1～2年生の基本的な生活習慣が身につけていない子供が多いですね。最近ね、小1プログレンと呼んでいます。小1問題、話が聞けない、奇声をあげる、出歩く、学ぶ習慣といいますが学習規律が守れない。そういう子供を落ち着かせてから学習を始めなくてはならない。

特に小学校1～2年30人学級という事で、少人数学級を市費の採用の先生方を20人採用致しまして、今年17人採用致しまして、学級担任をさせていただいております。

学力を向上させ、基本的な生活習慣を身に付けさせ、きめ細やかな指導するための特区でございましたが、これが昨年度でございました。

学力向上を含めて、生活習慣もまた、中学校1年生の不登校を減らそうという意味で取り入れられた訳でございます。今年度は中学校2年まで拡大致しました。来年度は中学校3年まで。

中学校よりは小学校を増やせよ、ということですが、20人の枠の中の事ですので苦労している訳でございます。それが30人学級の教育特区でございます。

それから今年度ですね、古代蓮の里行田のびのび英語教育特区、小学校に英語、英語活動を取り入れております。これは全小学校15校ありますが、全部の小学生が1～2年生が月1時間1回、3年生以上が1週1時間英語活動を取り入れました。AETの先生が8人から10人に増えました。

それから英語ボランティアという方を17人、やはりこれも採用しております。

ですから、担任、AET、ボランティアの3人体制でこの英語活動の授業をやっております。非常に子供達のゲームを通して、体を動かして、聞く、話す、と言うコミュニケーション能力を身につけようと、書くだとかそういう事はやっておりません。

聞く、話すを中心にして本当の英会話といえますか、それを中心に取り組んでおります。

この間、教育委員会の課長、松井課長でございますがこの会だったでしょうか、11月19日(土)に「みらい」で英語フォーラムという事でご案内をさしあげたと思うのですが、その英語活動をこの様に取り組んでいますよと、市民の皆様にPRする意味を含めて土曜日の午後パネルディスカッション、講演会、ミニ公開授業、ワンポイントレッスン、というような形で取り組んで、行田市の英語活動のPRする考えでおります。

1つの自治体が2年間続け国の教育特区の認定を受けて取り組むというのは、全国的にも珍しいわけですが、それをやっているのは教育委員会のわけですが、市長さんの方のいろいろなお力添えもございまして、2年続けて取る事ができました。

そういった意味で、全国的に行田市の取り組みについて勉強したいと今年度も20件近く視察に来ております。今日も長岡市の教育委員会がこの英語活動について視察に来ております。部長以下、説明についております。大変ありがたいというか、行田市の教育の特色になっております。

(次頁へつづく)

先生方も活気づいてまいりました。教育は人なりで、指導する先生の力がいかようであるかというのが非常に大切ですね。30人学級でもしかり、英語活動を取り入れて、そして市費採用の若い先生方を採用致しましたら、学校が活気づきました。

若い先生が居るといことはいいですね。市費採用の先生の力が、400人位の中から選ばれてきて優秀な教員が多いですね。

場合によると県費負担の先生の方が負けてしまうというくらいの力のある先生がおります。そういった意味で刺激されて、文字通り教員の世界もですね高齢化社会になりまして、50歳代の先生も多いです。

そんな中で市費採用の若い20歳代の、今年17人ですが、20代が16人、31歳が1人です。その様に若いです。活気づいてまいりました。

2番目にいきたいと思います。

学力1位、これはフィンランドなのですね。ここ何年か続いている様でございます。

最近、日本の子供の学力が低下していると言われます。よく言われます。本当に低下しているのだろうか、いやいやそれほど低下していないよ、と言う人もいます。

フィンランドというのはなぜ学力が1位なのか、このフィンランドの国の教育のあり方が非常に注目されています。3つあげました。

1つは、学力のとらえ方が違うのです。どういう事かといいますと、フィンランドで考えている学力というのは、生涯にわたって学習者になる知識、技術が身についているかどうかという事なのです。

日本でもこれからは身につけていきたいという事なのですけれども、生涯にわたって学び続けていけるかどうかという意味での学力調査をしているわけですね。OECDというところでやったのですが、そういう学力テストだと日本は劣ってしまう。そんな事でございます。

学力は3層構造だと思っております。1つは読み、書き、計算の本当の、或いは生活習慣の1階建ての部分でございます。理科、社会の各教科の基礎があります。3階建ての3階には、総合的な学習の時間という言葉聞いたことがございますでしょうね。自ら課題をみつけて、そして調べ、学習をしてこんな事もうったえたいという事で発表会など開いている。そういう生きるちからを育成するための3階建ての部分にあたります。

やはり日本でいえば、その3階建ての読み、書き、計算の本当の基礎、生活能力という1階建ての部分とそして各教科で指導するいわゆる2階建ての部分とそれを活かしたうえで本当の意味での生きる力、思考力、判断力、表現力といったものを培いたいという3階建ての学力論でいくというのかなと思います。

2番目に教師の資質と書きましたが、最近、模範であるべき教師が不祥事を起こして、マスコミ等でもさわがれています。帳簿を紛失するは、わいせつ行為をするは、何か教師の威光といいますか人格者であって心からふくする様な、心服できる様な教師として育ててほしいと強くおもっております。

そして3番目に書いてありますが、フィンランド

の読書の量がぐんを抜いているのだそうです。すばらしい読書量だそうです。子供の頃からやはり生きる力の育成にもつながりますし、本当の学力を高めるうえでも非常に大事な手段だろうと思います。

3番目にまいりたいと思います。

教育力の向上を（気づく目、感じる心、進んで実践）、教育力が低下しているという事でございませけれども、学力を伸ばしたければ①に書きました、あいさつと、早寝早起き、朝ごはん。今は大部分、夜型社会になって、調査によると12時過ぎてから寝るとい子供達なんか、サイクルが夜型社会に変わって行って、学校に来る頃疲れはてて頭が働かない。先生の指導も身に入らない。だから学力が低下していく。こういう事になるのだと思います。

②の地域の部分で顔が見え、声が聞こえる存在に。おいコラと言う声を戻したい、取り戻したいと。地域の人何か子供の悪ふざけというか、いけない事をやっていたら見過ごすのではなくて、「おいコラ」と、そういう声を戻したい。声が聞こえる存在に、そして行田市は見守りボランティアという事で子供達の安全を願ってご協力を頂いております。

③5つの見方でみてみよう（見る、視る、観る、診る、看る）。

英語で言えばこの最初の見るはシー、視るはルック、観るはウォッチ、診るはチェックの診るです。看るのはケアです。

シーとルックとウォッチとチェックとケアです。英語に置き換えてみると、この「みる」というのははっきりする訳です。子供達を見る時には、この5つの視点で見ていくのがいいのかなと、そんな風に思います。

最後の4番目にまいりたいと思います。

自らを高め、他をも高める存在に。これは私自身の生き方でございます。まず自分を高めよう。今、教育長という立場ですけれども、教育長には教育長の仕事があり、学級担任には学級担任の仕事があり、校長には校長の仕事がある。

そういう風に仕事の違いで会って、今の立場をよく理解して、教育長という事はどういう事をやれば良いか、まずそういう意味で自らを高めようと、他をも高めようと。これが生涯学習の理念なのです。

自分が高まるために大人の学校というのは、公民館というのがあるわけなのですけれども、公民館へ行っていろんな事を学習する。自分を高める、それはそれでいい。

自分を自ら高めたら、その学習した事を他に還元していく様な、他をも高める存在になった時、初めて生涯学習実践者なのだそうでございます。

3つの心、ハート、マインド、スピリッツと書きました。ハート優しい心です。そしてオープンマインドです。広い心なのです。そしてハンティングスピリッツなのです。挑戦する心なのです。

それから②番目ですね。特に教育長という立場でも、あるいわ校長時代にも考えておりました。つぶれない、これは、自らつぶれないという事です。

つぶされない、プレッシャーにつぶされない。そして周りの人をつぶさない。という事ですね。

(次頁へつづく)

それから③番目の最初の1人になる勇気を持つ。何か新しい事を起こす時に、最初の1人になる勇気を持ちたいですね。

本当に浅い、雑ばくな表面的なお話だけで終わってしまったわけですが、これで終わりにさせていただきます。

大変、失礼致しました。

## 謝辞 内山会長

津田先生、大変どうも有難うございました。

行田市の教育改革のまっただ中に、非常にお忙しい所お出で頂きまして有難うございました。

いつも感じるのですが、先生の短いフレーズの中にその思いのこもった教育にたいする思いの言葉が、ひしひしと伝わってくる思いでございます。

今日は、プログラム委員長の坂本委員長さんの方から、津田先生をという事で御紹介頂きました。

私は今、中央小のPTAの現会長なのですが、その前が坂本さんで、その時の校長先生が津田先生でありまして、そういう関係で今日来て頂きました。

ますます子供達のためになるかどうかという事が、我々のテーマであります。私も1人の親として今日の話に感銘を受けた訳でございます。心に残るもの、心に伝わるもの、教育のまち行田という事になる様に皆で高めてまいりたいという風に感じました。

今日は大変有難うございました。ますますご活躍、より良い教育、行田の教育、日本の教育も目指して。今日は本当に有難うございました。

## 委員会報告

### 親睦委員会 古沢委員長



皆さん今日は、親睦委員会でございます。

昨日鴻巣、水曜ロータリークラブへメイクアップ5人で行って参りました。第2弾ということで、1回目は桜ロータリークラブさんの方へおじゃましておりまして、その節は、有難うございました。

メンバーだけ紹介しますけども、鈴木康夫会員、湯本会員、山本栄治会員、境野会員と私の5名で、行って来ました。車1台で行ったのですが、群馬銀行の3階が例会場ということで駐車場へ着きましたら、ちょうど石渡さんが来まして3階の例会場まで案内をしていただきまして、先ほど山本幹事が申し上げた様にどういう係りをやっているのかなと思ったら、受付の係りをやっていました。

例会が始まりまして、どうしても私などは他の例会に行ったことが無いものですから行田ロータリークラブ以外のクラブはどういう事をしているのか興味がありまして、司会者の方が「今日も楽しい例会を始めましょう」と言うところから始めまして、非常に行田が重厚な雰囲気があるとしたらですね、気楽な親近感のもてるクラブだなと自分は、印象を抱いておりました。

それで最後にですね、石渡さんのニコニコ報告を聞いて参りまして、行田ロータリークラブの皆さんに宜しくとお伝え下さいという事とですね、私も負けずに、「是非、行田ロータリークラブの方へメイクアップに来てください」とお話し申し上げましたら、次年度幹事になる方が、私も1回、行田ロータリーさんにお伺いしたいなというような事だったので、近々おみえになるかもしれません。

以上でご報告でございます。

## 米山功労賞

湯本会員、福島会員、富田会員、古沢勇次会員  
宮内会員、山本憲作幹事、内山会長



### 財団法人ロータリー米山記念奨学会 島津様

最初に代表と致しまして、湯本副会長の方に、このたびは、本会はあなたを第7回米山功労者マルチプルとして、推奨いたし感謝状を送り致しましたのでご収納下さいますようお願い致します。

私たちが支援いたしました米山奨学生は1万名を超えました。現在教育者、研究者、社会事業家として、さらに経済界において、また、政治家、行政官、外交官、そして母国及び国際社会で活躍しております事は、ご同慶の至りに存じます。

引き続きご支援賜りますよう、宜しくお願い致します。

### 挨拶代表 湯本会員

皆さん今日は、米山功労賞と言う事で受賞させて頂き有難うございました。

今年からですかね、当初は私、寄付させてもらったのが30万というのが記憶にありますが、今10万円という事で是非、次年度もご協力頂ければと、こう思っております。

このお金はですね、世の中のために有意義に使って頂ければと期待しているところでございました。



## ニコニコ報告

### 行田さくらRC

☆清水様…お世話になります。今日は私どもクラブ出席委員長はじめ計5名が出席させていただきました。

☆阿部様…メーキャップするのは初めてです。行田クラブには是非行ってみたいと思っていました。よろしくをお願いします。

☆斉藤様…本日はお世話になります。

☆新井様…本日はお世話になります。津田教育長の卓話楽しみです。

☆矢澤様…お世話になります。

☆内山会長…本日は多くのご来訪者を迎えました。津田教育長様、行田さくらRCの皆様ようこそ行田RCへいらっしゃいました。

☆山本(憲)幹事…津田教育長様、本日はありがとうございます。

☆渡辺会員…行田クラブの青少年奉仕活動の助言者、津田教育長、ようこそおいで下さいました。いつもご指導ありがとうございます。

☆佐藤会員…教育長、頑張ってください。

☆小池(英)会員…津田先生を歓迎して。

☆永島会員…津田先生のおかげで行田と白河の児童交流が発足し、現在も継続中です。ありがとうございます。

☆小山会員…津田教育長には、いつもRC活動に深いご理解をいただきありがとうございます。

☆山田会員…津田先生、卓話ご苦労様です。

☆大谷会員…教育様、卓話ありがとうございます。

☆湯本会員…津田教育長様、本日は卓話ありがとうございます。

☆諸貫会員…津田教育長、卓話ありがとうございます。

☆武笠会員…津田教育長様、卓話ご苦労様です。

☆田山会員…卓話ありがとうございます。

☆清水(義)会員…津田教育長様、卓話ありがとうございます。

☆島田(修)会員…津田教育長様、卓話ありがとうございます。

☆小林会員…津田教育長、卓話ありがとうございます。

☆福島会員…津田教育長、卓話ありがとうございます。

☆森島会員…津田教育長様、ご講演ありがとうございます。

☆鈴木(康)会員…津田先生卓話ありがとうございます。

明大マンドリンチケット売り切れしました。ご協力ありがとうございました。

☆小沢会員…津田教育長様、本日は卓話ありがとうございます。

☆大野会員…明大マンドリンチケットのお買い上げご協力ありがとうございます。おかげ様で完売しました。

☆小椋会員…津田教育長、卓話ありがとうございます。

☆小池(利)会員…津田教育長、卓話ありがとうございます。

☆古沢(勇)会員…さくらRCの皆様、メーキャップありがとうございます。

☆植田会員…津田教育長、ようこそいらっしゃいました。

☆鈴木(貴)会員…教育についての興味深い卓話ありがとうございます。

☆清水(治)会員…教育についての興味深い卓話ありがとうございます。

☆小島会員…教育についての興味深い卓話ありがとうございます。

☆持田会員…教育についての興味深い卓話ありがとうございます。

☆宮内会員…教育についての興味深い卓話ありがとうございます。

☆廣世会員…教育についての興味深い卓話ありがとうございます。

合計 ¥ 3 9 0 0 0